

研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

頭部外傷後に一過性全健忘を呈した小児症例の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月から2025年12月までに昭和医科大学江東豊洲病院を受診した、小児患者さんのうち、頭部外傷後に一過性全健忘呈した患者さん。

2. 研究目的・方法

昭和医科大学江東豊洲病院は江東区で上位の小児病棟病床数を擁しており、内科疾患から軽度な外傷疾患も多数対応しております。

一過性全健忘（Transient Global Amnesia：TGA）は突然の前向き・逆行性健忘を呈し、神経学的異常を伴わないまれな疾患で、特に小児例の報告は極めて少ないです。

小児のTGA症例についてその臨床的な特徴を明らかにすることにより、検査や今後のフォローについて、治療方針調整に大きく寄与すると考えます。

方法としては上記期間で、当院のこどもセンターを受診し、一過性全健忘の臨床像を呈した患者さん方を対象とします。診療録を参照し、年齢、性別、既往歴、周産期の情報、家族歴、内服歴、前向き健忘と逆行性健忘の期間、身体所見、血液検査所見、画像検査所見、入院経過、退院後経過などの情報を収集します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往歴、周産期の情報、家族歴、内服歴、前向き健忘と逆行性健忘の期間、身体所見、血液検査所見、画像検査所見、入院経過、退院後経過、入院期間、最終診断といった情報を収集して評価します。患者さんに追加の検査などは行いません。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学江東豊洲病院	阿部祥英
研究分担者	昭和医科大学江東豊洲病院	関谷健

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院こどもセンター 氏名：阿部祥英

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000